



図書館だより



2023年
読書週間号①

秋草学園高等学校 図書館

秋晴れの気持ちよい日が続いています。10月の関東地方は夏日が続出し、日中は上着なしで過ごせていましたが、これからグッと秋が深まってくるのでしょうか。木々が紅葉していく様子や秋の味覚を楽しみましょう。先週27日からは読書週間も始まりました。みなさんに読書の秋を楽しんでもらういい機会です。2週に渡って図書館だよりを発行しながら、たくさんの本を紹介していきます。1冊でも気になる本に出会ってもらえたら嬉しいです。館内には桔梗祭企画で作った図書委員のおすすめ本紹介POPも継続して展示中なので、そちらも見に来てください。

今年も読書週間の季節がやってきました！

短編集なら1冊でいろいろな物語に出会える

私のペースで しおりは進む

2023・第77回 読書週間
10/27～11/9



今年で77回目を迎える読書週間。みなさんは最近、本を読みましたか。毎日読んでいる人もいれば、「そういえば今年まだ1冊も読んでいないかも」という人もいるかもしれません。そんな人もこの2週間は時間を見つけて本を開いてみてほしいです。

みなさんが「本っておもしろいかも」と思ってもらえるよう今年の標語「私のペースで、しおりは進む」をキーワードに色々なペースで楽しめる本を紹介します。

ショートショートでいつでも気軽に読書

B913.6-ホ『ポッコちゃん』

星 新一 || 著 新潮社

ショートショートの王道といえば星新一さん。数ページの物語にスリリングな展開が待っていて、やみつきになります。書名の『ポッコちゃん』はバーのマスターが作った超美人のロボットの話。ロボットと気づかず彼女に恋したお客がある日毒を盛ってしまったのだが…。

B913.6-コ『3分で読める！ティータイムに読むおやつ物語』

『このミステリーがすごい！』編集部 || 編 宝島社

カステラ、あんこ、スコーン、ショートケーキ、たくさんのお菓子が登場するショートショート。ミステリー仕立て、ほっこり仕立て、ホロリと涙仕立て、と物語の味わいも色々揃っています。次のお菓子と物語が気になって読む手が止まらなくなる1冊。

B913.6-カ『さがしもの』

角田 光代 || 著 新潮社



古本屋に売った本と旅先の海外で何度も再会する主人公がいたり、余命短いおばあちゃんに頼まれて1冊の本を探す主人公がいたり、本との不思議な縁を感じる短編集。本は単なる読み物ではなくて、手にした人の人生に思いがけないサプライズをもたらすものなんだと感じられます。

B913.6-ホ『明日町こんべいとう商店街』

大島 真寿美/大山 淳子 ほか || 著 ポプラ社

下町のかたすみひっそり息づく『明日町こんべいとう商店街』を舞台に7人の作家が物語を紡ぎます。昔ながらの米屋や呉服店、ここにしかない不思議な店、新しい開店するカフェ、それぞれの店で様々な出来事が起こります。あなたはどの店に行ってみたくありませんか？

連作短編集は一話ずつでも一気読みでも楽しい

913.6-7 『阪急電車』

有川 浩 || 著 幻冬舎



片道15分、停車駅10駅の阪急電車今津線。小さな路線のその車内では恋が始まる人、恋に終止符を打つ人、一歩踏み出す言葉をもらう人、たくさんのドラマが待っています。たまたま乗り合わせた人同士の偶然の出会いはいずれも優しく、心をあたためてくれます。

913.6-イ 『アイネクライネナハトムジーク』

伊坂 幸太郎 || 著 幻冬舎

思いがけない出会い、思いがけない再会がもたらしてくれるいくつもの奇跡。伊坂幸太郎さんが生み出すユーモラスな主人公たちにクスッと笑いながら、彼らの恋の行方を楽しめます。何度も登場する“あの作戦”をいつかどこかで使ってみたくなる人も多いはず。

司書の今月はこの本読みました

書名が気になっていた本を読みました。『成瀬は天下を取りに行く』(913.6-ミ 宮島未奈 新潮社)です。成瀬とは何者なのか。わくわくしながら本を開くと、「島崎、わたしはこの夏を西武に捧げようと思う」という成瀬の一言が待っていました。成績優秀、個性豊か、常に我が道を行く少女、それが成瀬。西武に夏を捧げ、お笑いの頂点を目指し、入学式に坊主頭で現れ、「成瀬がまた何か始めたぞ」と周りがざわめいても成瀬は気にしない。一見奇抜に見えるけど、自分の「やりたい」に全力で挑む姿は清々しく、成瀬にどんどん惹かれてしまう1冊でした。【今井】